

令和6年10月4日より、

STB-ICT 土質改良工法 (KT-210047-VE) が  
新技術検索システム (NETIS) の活用促進技術になりました。

機器紹介

★スタビライザ 360 (1.2)



GNSS アンテナ

傾斜計

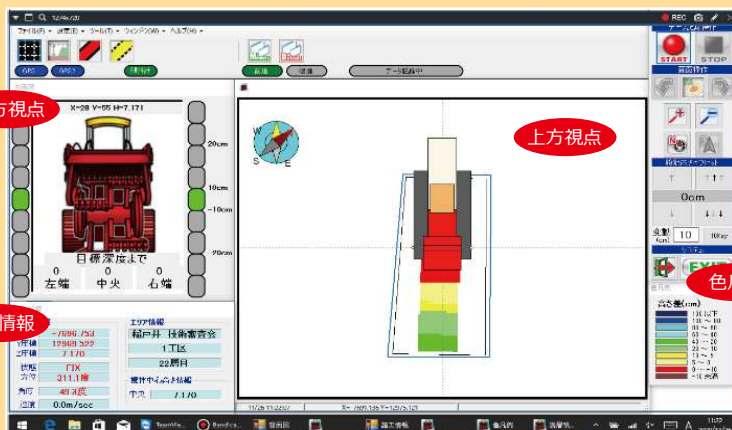


GNSS システム BOX

ガイダンスモニター

ガイダンスモニター

操縦者が操縦席にあるモニターでリアルタイムに施工位置および混合深さを確認しながら施工できるシステムです。

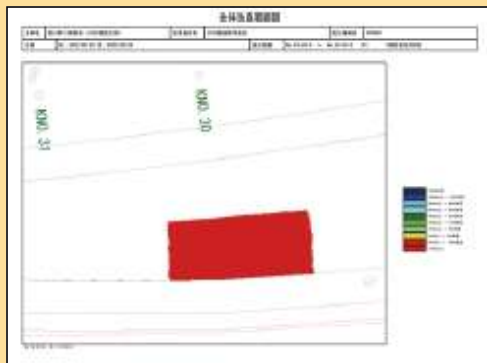


設計深度まで改良をすると赤色に  
施工軌跡を着色することが可能です



改良範囲図 (施工軌跡)

施工軌跡帳票を出力し出来形管理資料の作成が可能となり、  
施工進捗管理の効率化が図れます。



履歴データは、出来形管理帳票として出力し、  
品質管理のデータとしても活用できます

この3次元 GNSS 管理装置搭載のスタビライザは、  
国土交通省策定の「3次元計測技術を用いた出来形  
管理要領 (案) R6.3」に適用しています



3次元 GNSS 管理システムを搭載したスタビライザ地盤改良工法で  
均一な品質の地盤改良を実現します!!